

学力向上に効果のある取組事例

豊後大野市立菅尾小学校

④「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」の適切な設定

取組の具体①

※児童の発達の段階に応じた振り返りシートの活用 ～主体的で深い学びを実現するための、記述を取り入れた授業～

◎児童の実態

- ・学年によって、文章を書く力が異なる
- ・話を聞き、内容を答えることが苦手
- ・思考力、表現力において、個人差が大きい



1 振り返り活動を位置づけた授業づくり

◎振り返り活動を行うことの意味(効果)

- ・学習意欲の向上
- ・自己肯定感の向上
- ・知識・技能の習得
- ・自己調整的学習能力の向上

◎振り返りの視点

- ①達成
- ②事実や価値の発見
- ③学習過程の評価
- ④他者の情報の活用
- ⑤探求の意欲

2 振り返りシートの形式

- 下記①～③を記述する「多層記述型」
- 下記①～③の観点については教師や子どもが選択できるようにする。

3 振り返りシートの内容(右図参照)

- ① 学習成果の振り返り
 - ・わかったこと【知識】
 - ・できるようになったこと【技能】
- ② 学習過程の振り返り
 - ・工夫したこと【思考・判断】
 - ・よいと思った考えや表現【思考・表現】
- ③ 未来に向かう姿
 - ・新たな疑問や発見
 - ・挑戦してみたいこと
 - ・学習の活用

「菅尾小振り返りシート」 <第1段階>

- 低学年や書くことに抵抗があったり苦手だったりする子ども、自分の思いを表現できにくい子どもに視点をあてたシート。

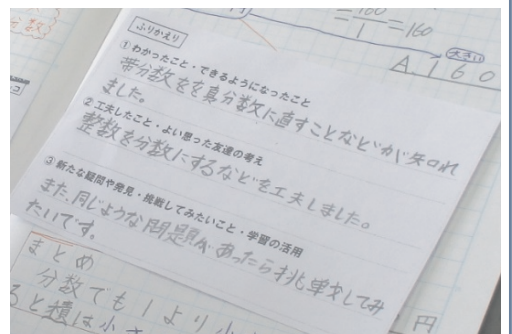
ふりかえり	
① なるほど	
わたしは、	がわかりました。
② がんばり	
わたしは、	という考えがよいと思いました。
③ ちょうせん	
次は、	をがんばりたいです。

「菅尾小振り返りシート」 <第2段階>

- 学習意欲の向上や自己肯定感の向上、知識技能の習得等、振り返りの効果を生かしたシート。

ふりかえり	
① わかったこと・できるようになったこと	
② 工夫したこと・よい思った友達への考え	
③ 新たな疑問や発見・挑戦してみたいこと・学習の活かし方	

※授業での振り返りシート



取組の具体②

※UDの視点に立った授業改善

- 毎時間「授業の流れ」を提示し、本時の授業に見通しをもたせ、授業の流れを確認することでUDの視点にたった授業を構築している。

- 「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」を設定し、本時の学習内容、本時で追求する事柄、本時で学んだこと等が視覚的にもわかるように板書に位置づけ、学習内容の振り返りができるように取り組んでいる。

- 授業の流れ黒板(全教室に設置)
- 「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」



授業の流れ

- めあて
- 課題
- 友だちと考える
- 新聞の読み取り
- まとめ
- 振り返り

